

## 平成 26 年度事業報告

### 運営方針

当財団の公益目的事業は地域資源活用推進事業であり、これは地域資源に再注目し、これを活用した第二次産業・第三次産業を育てることにより、山村の振興を図るものです。特に当該地域の重要な資源である山林については、県産材の需要拡大が求められており、また適切な間伐が自然災害の被害低減につながるという観点から、間伐材を含めた地元材の活用推進に特に注力するものです。

昨年度は特に、今春稼働の木質バイオマス発電事業が大きく前進するなどの状況から、今後これまでにない質量の木材が伐採され、より適切な、かつ効果的な活用を図ることが求められていることから、地域林業の大きな転換期に即応した活動を実施してきました。

## I 公益目的事業

### 1 地域資源活用推進事業

#### (1) 地域材製品等開発支援事業

〈地域材製品の開発支援／地域材製品の企画試作／オープンラボ(工場開放)〉

当該地域において確保・保持が難しい試験研究や技術開発の体制・ノウハウについて当財団職員及び当財団がコーディネートする人材により補完する取り組みを行いました。木材加工業者、製材業者等からの相談に応じ、もしくは自主開発として、地域材製品を企画し試作しました。また、木材乾燥や木材加工を通じて、木製品開発を総合的に支援しました。

①昨年度はバイオマス燃料となるチップ素材等に関する含水率の追跡調査を実施し、その結果を情報提供しました。(江の川流域協議会からの委託事業)

②ポリテックカレッジ島根等と連携し異樹種三層材製品の試作を進め、補助事業繰越分を活用して大阪の展示会へ出展するなどPRを図りました。(県公募事業)

③技術研修については、林業高性能機械の現地研修場所の提供、及び製材品のグレーディング研修(ヤング係数・含水率測定による等級付け)の際に測定器械を提供するなど協力をしました。

## (2) 地域産品の普及促進事業

### 〈地域産品のPR支援／販路拡大のための情報収集提供〉

当該地域は比較的小規模な製造業者が多く、産品のPRを行う機会を設けにくいのが実情です。一方、産品の普及においては地域にとどまらない広域の市場を対象としたPR・販路開拓を継続することが必要でありこの機会の提供及び相談支援を行いました。

期間限定のアンテナショップとして、一昨年に続き松江に「森トピア」を開設しました。前回の経験を踏まえて取り扱い産品等を拡充し、石見部産品をはじめ他の中国地方の産品も合わせて紹介しました。

## 2. 地域づくり事業

地域内外の住民に対し、森林資源をはじめとした当該地域の特性に触れる機会を設けるほか、地域づくり支援を行う機関に対する助成、表彰を行うことなどにより山村の振興を図るものです。

①「森林保全学習体験事業」では地域イベントにおいて木工体験を実施しました。

②「地域づくり等協力事業」では、地域の活性化に資することが認められる活動を支援するために、自ら主体となって積極的に行事等の活動を実施する団体・グループの経費の一部を助成しました。

③施設管理事業では、他地域住民の当該地域に対する関心や来訪の機会を増大するため、他地域からの集客拠点のひとつである公的施設「浜田市フットサルやさか競技場」の受付業務を浜田市からの委託を受けて行いました。

また、例年通り管理棟の会議室、厨房などを地域住民に役立てる施設開放も実施しています。

④表彰事業については、当該地域の活性化に資する生産活動や公益活動を行った団体を表彰し、地域の振興の機運を高める事業です。各地で類似の事業が行われていることなどから、実施を見合わせました。

### ⑤その他

旭町の更生施設における刑務作業については、27年度から木製品の製作、節補修加工について技術指導を行うことになりました。

<会議・参加行事等>

平成26年	5月13日	財団監査(浜田)
	5月13日	理事会<書面決議>
	6月5日	評議員会・報告連絡会(浜田)
	9月12日	浜田地域森林整備加速化部会(浜田)
	9月26日	期間限定アンテナショップ「森トピア」オープン (～11月30日 松江)
	10月15日	リビング&デザイン展出展(～17日 大阪)
平成27年	3月17日	理事会<書面決議>
	3月17日	林業ビジネスモデルの実現を目指す会議(浜田)
	3月19日	江の川流域活性化協議会(川本)
	3月26日	需要拡大プロジェクト会議(浜田)

セミナー参加等

平成26年	5月13日	販促物ディレクション・デザインセミナー(松江)
	6月23日	企業支援施策説明会(益田)
	6月24日	販促物ディレクション・デザインセミナー(出雲)
	7月15日	販促物ディレクション・デザインセミナー(出雲)
	7月26日	販促物ディレクション・デザインセミナー(出雲)
平成27年	1月27日	木材コーディネーターがつなぐ地域材講演会(益田)
	1月28日	製材品の縦振動ヤング係数測定・含水率測定に関する講習会(弥栄)
	2月23日	フォークリフト運転技能講習会(浜田)
	3月24日	商品ブラッシュアップ支援事業説明会(浜田)

イベント参加等

	9月6日	益田キャンドルフェスタ
	10月18日	植樹会(森づくり海づくり in 浜田とフットサル大会 の共同実施)
	10月19日	石見小学生フットサル交流選手権大会 (木工体験 弥栄)

## II 収益目的事業

- (1) 県産材木製品受注事業 <木製品の受注製作販売>
- (2) 土地建物賃貸事業 <金城町財団所有地の賃貸>

収益確保を目的とし、木製品の製作・販売及び不動産賃貸等を行う事業です。

・製作販売においては収益確保を目指すために、県外へ販売可能な製品の開発が必要であり、旭町の更正施設との連携によりこれを行うことになりました。

## III 財団の運営

財団の業務執行に関する意思決定を行い、業務を公正に執行するため、理事会評議員会を開催し、適正な財団運営に努めました。

### ①理事会

- 第1回 平成26年5月13日(書面決議)  
平成25年度事業報告・決算書類承認の件
- 第2回 平成27年3月17日(持ち回り、書面決議)  
平成27年度事業計画・収支予算承認の件

### ②評議員会

- 定時 平成26年6月5日  
平成25年度事業報告・決算書類承認の件

### ③監査

平成26年5月13日 25年度における会計及び業務監査

### ④情報の公開

ホームページを一新して組織・会計及び各種事業についての情報公開を進め、透明化を図りました。

### ⑤設立20周年記念事業の検討

新旧法人を通算して平成27年度に設立20周年を迎えるため、理事会等において記念行事の検討を行いました。

その結果、人工乾燥機の導入を図り、新規設置について検討委員会を開くなど、地域ニーズを把握し、それを踏まえて乾燥機の仕様、設置場所などについて検討し、本年度中に設置される見込みとなりました。

また、平成27年7月末に林業座談会など記念行事を行うことになりました。

平成26年度収支決算

公益目的事業会計

経常収益計		29,430,505
①地域材製品等開発支援事業		11,340,007
②地域産品の販売促進事業		1,263,393
③森林保全学習体験事業		75,632
④地域づくり推進事業		0
⑤施設管理事業		574,600
⑥表彰事業		0
⑦共通		16,176,873
経常費用計		37,726,699
①地域材製品等開発支援事業		18,955,044
②地域産品の販売促進事業		5,662,307
③森林保全学習体験事業		135,617
④地域づくり推進事業		1,103,161
⑤施設管理事業		968,967
⑥表彰事業		0
⑦共通		10,901,603

収益事業等会計

経常収益計		20,664,705
①県産材を使った木製品受注事業		16,668,489
②土地建物の賃貸事業		3,996,000
③共通		216
経常費用計		21,791,533
①県産材を使った木製品受注事業		16,052,894
②土地建物の賃貸事業		2,627,315
③共通		3,111,324

法人会計収益		3,887
法人会計費用		846,610
当期経常増減額	公益事業	△ 8,296,194
	収益事業	△ 1,126,828
	法人会計	△ 842,723
	増減額	△ 10,265,745